

© 2023 maki		※ 無断複写(転用・転載)はご遠慮ください								
フェーズ		機能(課題の解決手段)	無いと困る理由・解決したい課題	補足メモ	Done		どんな技術? 最小	どんな技術? 最大	優先度	メモ
1. 自分自身の設定		- マイページで推しのジャンルを登録する	- 自分の好みの専門ジャンルを決めれない - なんでもいいから決めて進みたい - 変わったら更新したい	- 初学者に対し以下の補足は必要 - 挫折しないため - 決め方はなんでもいい(新書や図録など)		js	<a href="#">フォームが入力されたタイミングで処理を実行。</a> ただし保存のタイミングは完了ボタンを押した時			<a href="#">htmlのテキストエリアに自動保存機能をつける</a>
		- マイページで勝手に推しの書き手、推しの読み手に弟子入りする	- 気になった人を勝手に師匠にして師匠の型を参考に進みたい - 変わったら更新したい	- 初学者に対し、以下の補足は必要 - 挫折しないため - リアル師匠でなくていい - 興味関心が似ていたら、遠くの人でも、身近な人で		js	1と同じ			
2. 本の登録		- タイトル、著者名、出版年、出版社の入力				js	1と同じ			
		- 論文やweb記事も登録できるようにする	- 本よりも質の高い記事や論文はたくさんある。本というパッケージに閉じると世界が狭くなる - 本を読んで本だけで解決する場合と、調べないと解決しない場合がある - 本以外の資料も登録したい			js	1と同じ			
						js	<a href="#">テキスト内のハッシュタグやURLをリンクにする</a>			
		- 総ページを入力	- これがないと乱読・精読の評価ができない	- ある一冊の、ある章だけを研究・精読したい人もいるので、自分で入力してもらおう - ある章だけ読めるかどうかは本による。文学はむずい。		js	<a href="#">値を設定する</a>			
3. 入門		- いきなり難しい本を読む人にお知らせ	- 初学者は学習の仕方がわからないので挫折する	- 初学者に対し、以下の補足は必要 - 挫折しないため - 大まかな基礎知識を得るためだけに、絵本、自伝、中高生を相手にした入門書(簡単順)を2冊、恥ずかしがらずに読む		html	お知らせ			
4. 最初の乱読		- 最初に投稿した画像を可視化する	- 本を読み進める中で自分がどう変化したかを知るため - 本を通して自分がどう変化したのかが大事			css				
5. 乱読メモ投稿		- タップすると日付と「最初に気になった1ページ」と出る	- 上をわかりやすくするため			js	<a href="#">ツールチップを表示</a>			
		- 複数枚の画像を投稿する	- 投稿時の障壁を減らしたい			js	複数枚の画像をマウスで選択してアップロード			
		- ドラッグ&ドロップで投稿する	- 投稿時の障壁を減らしたい			js		- 複数の画像をドラッグ & ドロップで投稿		
		- Heic画像を投稿できるようにする	- スマホから投稿できるようにしたい			ruby	ImageMagick	<a href="#">ライブラリ_Dropzone.js</a>		
		- 更新順で投稿した画像を表示								
		- 上書きするか別名で保存するか選択する	- 文字画像は見にくくて間違って同じものをアップロードしがち	- Gemがある。Gemの中も簡単に読めるコードだった		ruby	<a href="#">同じファイル名の保存、保存のキャンセル、別名で保存</a>			
		- 画像をサムネイル表示する				ruby	ImageMagick			
6. 読む/読まないの評価		- アーカイブ。初回は保留。	- 後ろめたさからずるずると読んでしまう - 読まないと決めることも大事。 - ただし、読まないことは後ろめたいので、決めたことに対して前向きな気持ちにさせて欲しい	- トグルボタン		js	<a href="#">トグル切り替えイベント</a>			
7. 再読への誘い		- メモの数を表示	- 自分にとって大事な本 = メモの数であることを可視化するため	- トップページに表示		ruby	dbから見つけてきてメモ数をカウントする			
		- メモの数が多い本を目立たせる	- 自分にとって大事な本であることをわかりやすくしたい	- トロフィに匹敵するものをつける		css				
		- メモの数が多い順、本の登録順、履歴順に並び替えをする	- 乱読状態では自分にとって大事な本かどうか決まっていない本もあるので、登録順、履歴順での絞り込みが必要	- トップページで操作		js	<a href="#">絞り込み検索</a>			
8. 読み返し	タグ	- メモの仕分けが出来るよう、タグを作成できるようにする	- 消化できていないメモの数が多すぎると精読に向かえないため			js	<a href="#">セレクトメニューの変更イベント</a>			<a href="#">Gem_タグ管理機能(acts-as-taggable-on使用)</a>
		- 読み直す、読了(Re-read / Finished reading)	- デフォルトは読み直す(Re-read)			js	8に同じ			
	画像メモ	- タップしたらモーダルでスライドになる(参考:googleドライブ)	- 画像の文字を読めるようにしたい			js	<a href="#">スライド機能 ライブラリ_swiper</a>			
		- ダウンロード	- 読み辛い場合ダウンロードしたい			js	<a href="#">js-file-downloader</a> <a href="#">downloadjs</a>	本単位でzipにして一括ダウンロード		
							<a href="#">JavaScriptでテキストファイルなどをダウンロードする方法【動画版あり】</a>			
							<a href="#">ytdl-core</a>			
							<a href="#">nodejsとytdl-coreを使用しYouTubeの動画をダウンロードする(コード付き)</a>			
							<a href="#">ファイルをダウンロード保存する</a>			
		- 拡大縮小	- 文字が小さい場合に拡大したい			js	<a href="#">Medium Zoom</a> 画像をそのまま拡大			
							<a href="#">LIGHTBOX</a> 画像をポップアップ時に拡大			
							<a href="#">javascript 要素を拡大させる</a>			

[illegible]